

平成30年3月期 第1四半期 決算の概要

平成29年8月7日
(株)今仙電機製作所
東証1・名証1
証券コード 7266

www.imasen.co.jp

I. 第1四半期の状況（前年同期比較）

1Q連結決算ハイライト



百万円	前年同期実績 (H28年6月期)	当期実績 (H29年6月期)	増減	
			増減額	増減率
売上高	27,848	28,439	591	2.1%
営業利益	434	681	247	56.8%
経常利益	61	550	489	789.2%
当期純利益	▲ 307	456	763	-
1株当たり純利益	▲ 15.00円	22.28円	37.28	-

POINT

国内、アジアでの生産増加により、増収増益となりました

ご参考

USD 29/6期 113.6円 28/6期 115.35円 1.75円の円高
 CNY 29/6期 16.56円 28/6期 17.60円 1.04円の円高
 THB 29/6期 3.24円 28/6期 3.24円

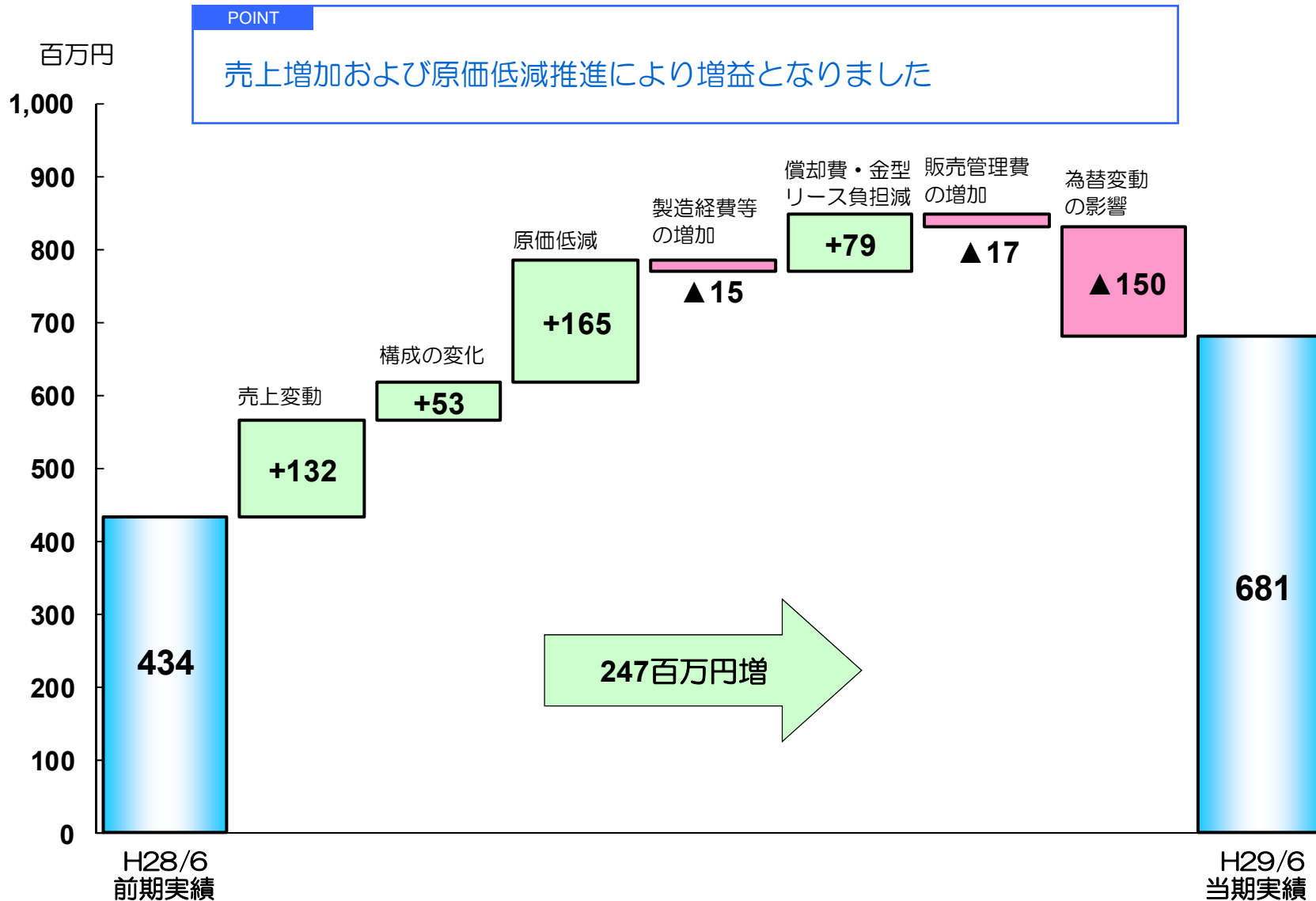
1Q連結決算ハイライト

百万円	前期実績 (H29年3月期)	当期実績 (H29年6月期)	増減	
			増減額	増減率
総資産	82,033	80,635	▲1,398	▲1.7%
純資産	46,335	46,555	220	0.5%
自己資本比率	56.0%	57.2%	-	-
1株当たり 純資産	2,239.53円	2,250.33円	10.80円	0.5%

POINT

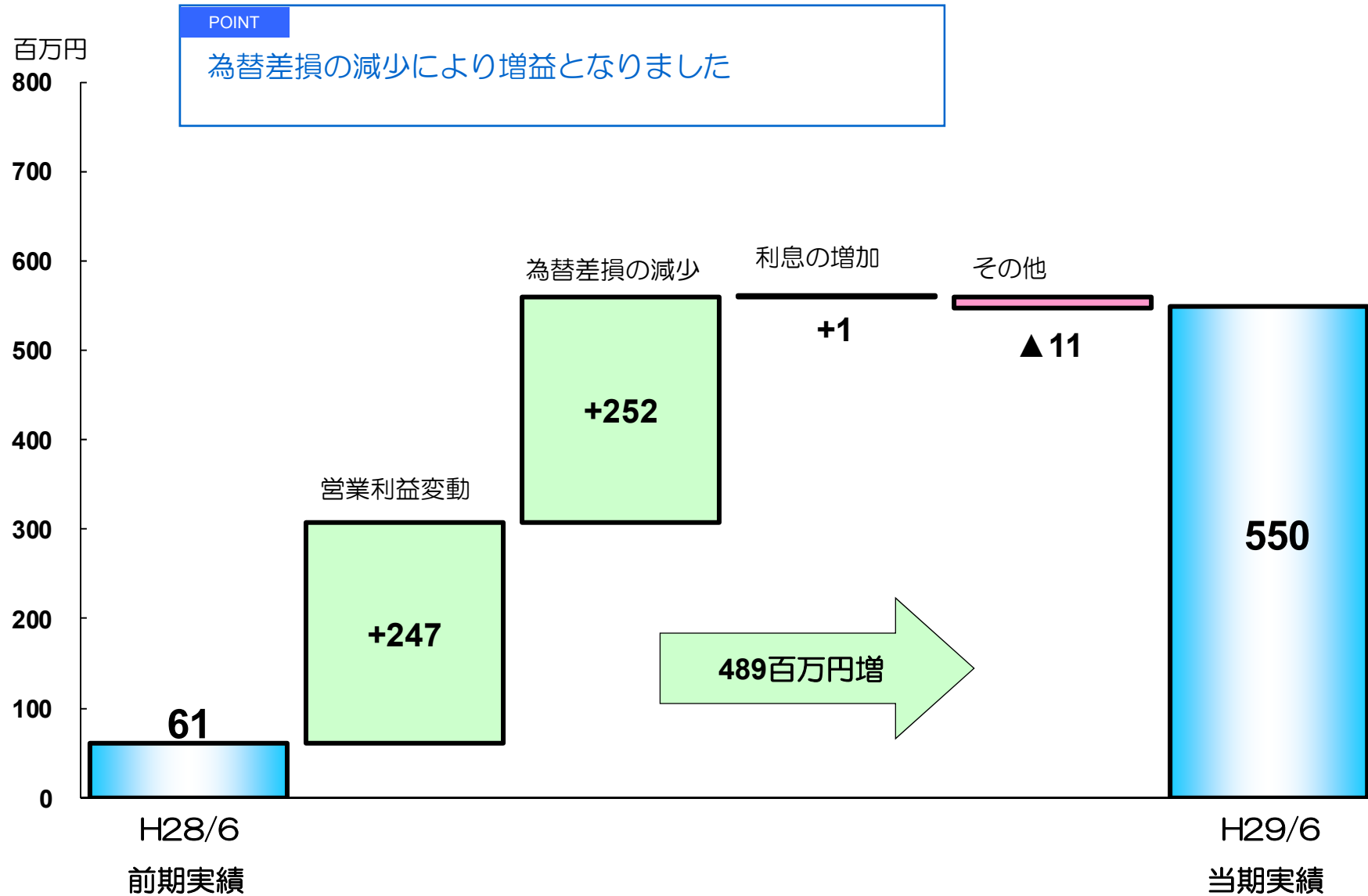
有形固定資産の減少や借入金返済を進めたことなどにより、総資産は減少しております

1Q実績 前年同期比変動要因：営業利益



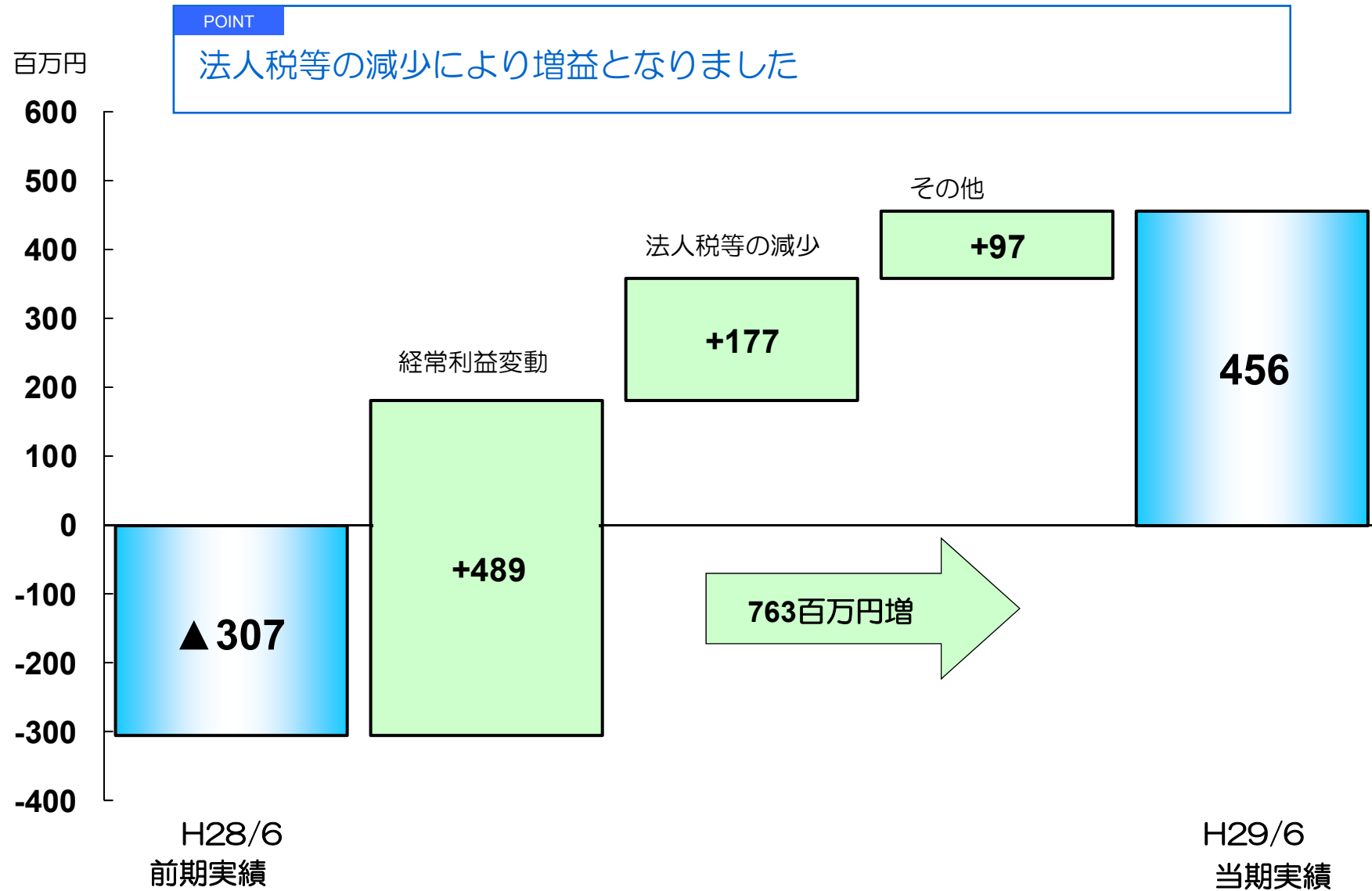
本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

1Q実績 前年同期比変動要因：経常利益



本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

1Q実績 前年同期比変動要因：当期純利益



本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

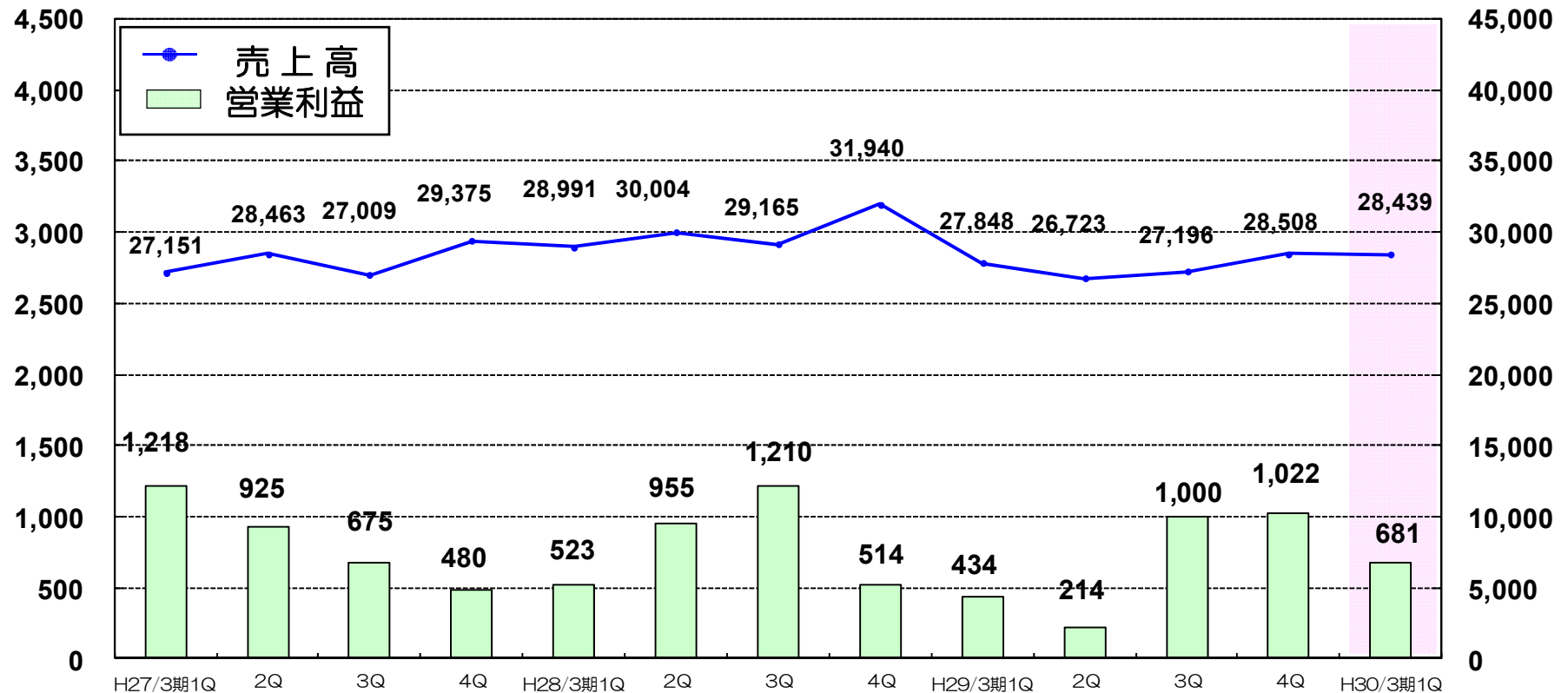
四半期業績の推移



■連結売上高・営業利益の推移

営業利益

単位：百万円 売上高



POINT

前4Q半期と比べ為替が円高に推移したことにより減益となりました

本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

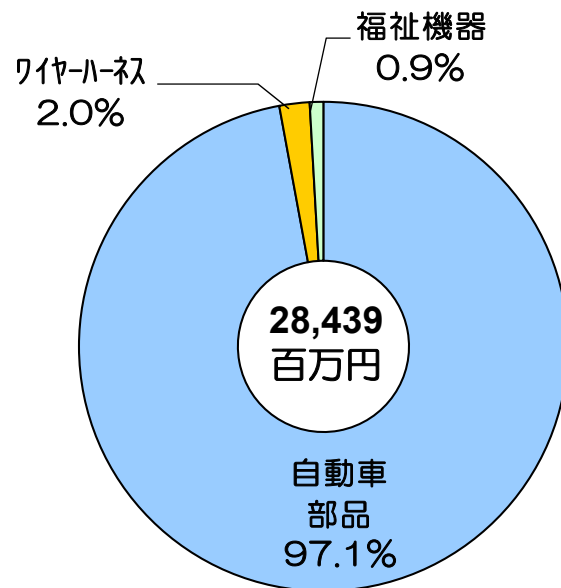


百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハ 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	H29/6期	27,615	567	256	28,439
	H28/6期	26,934	671	242	27,848
	増減額	681	▲ 104	14	591
営業利益	H29/6期	758	▲ 81	1	681
	H28/6期	477	▲ 30	▲ 14	434
	増減額	281	▲ 51	15	247

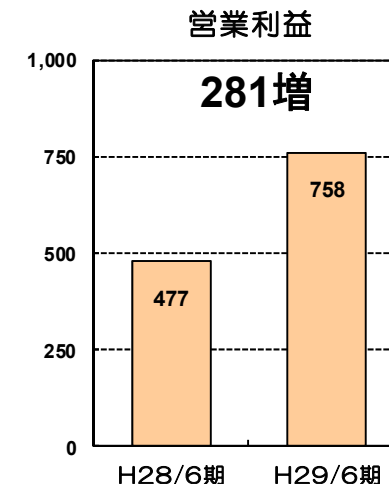
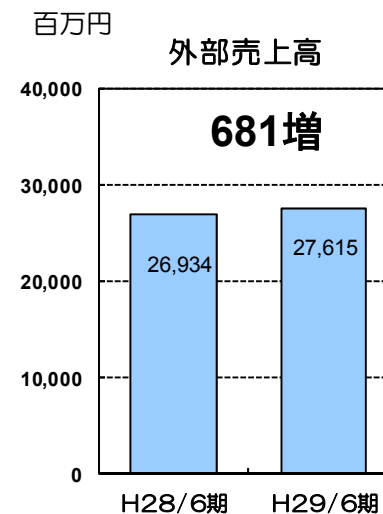
POINT

主要事業である自動車部品関連事業において、国内、アジアでの生産増加などにより増収増益となりました

事業の種類別 売上高構成



自動車部品関連事業



事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

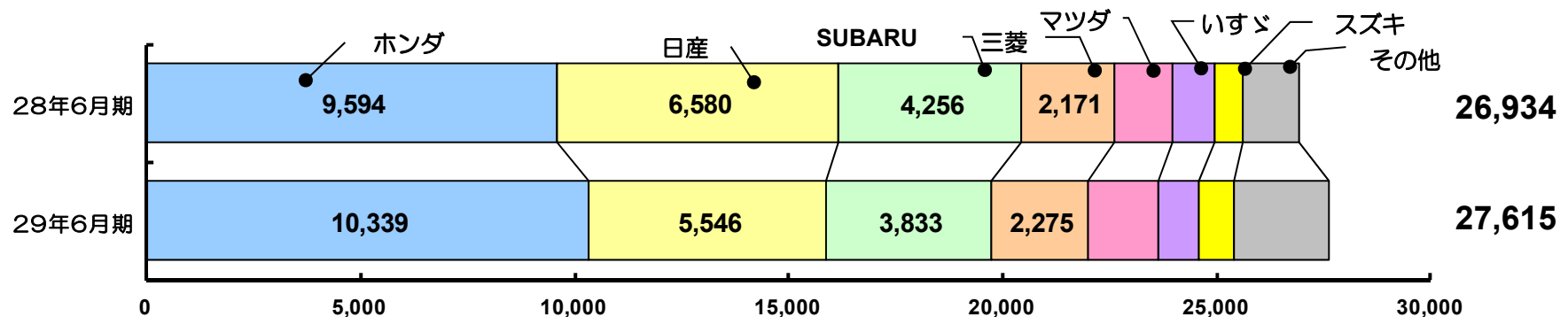


得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期		増減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	9,594	35.6%	10,339	37.4%	745	7.8%
日産自動車(株)	6,580	24.4%	5,546	20.1%	▲ 1,034	▲ 15.7%
(株)SUBARU	4,256	15.8%	3,833	13.9%	▲ 423	▲ 9.9%
三菱自動車工業(株)	2,171	8.1%	2,275	8.2%	104	4.8%
マツダ(株)	1,374	5.1%	1,632	5.9%	258	18.8%
いすゞ自動車(株)	971	3.6%	952	3.4%	▲ 19	▲ 2.0%
スズキ(株)	676	2.5%	824	3.0%	148	21.9%
ダイハツ工業(株)	164	0.6%	182	0.7%	18	11.0%
トヨタ自動車(株)	142	0.5%	155	0.6%	13	9.2%
日野自動車(株)	87	0.3%	85	0.3%	▲ 2	▲ 2.3%
ヤマハ発動機(株)	19	0.1%	23	0.1%	4	21.1%
その他	900	3.3%	1,769	6.4%	869	96.6%
計	26,934	100.0%	27,615	100.0%	681	2.5%

POINT

- ホンダ系列向け
 - ・ 北米、中国における生産増加
- 日産系列向け
 - ・ 北米における生産減少
- SUBARU系列向け
 - ・ 北米における生産減少
- 三菱系列向け
 - ・ 国内における生産増加
- マツダ系列向け
 - ・ 国内における生産増加



本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業



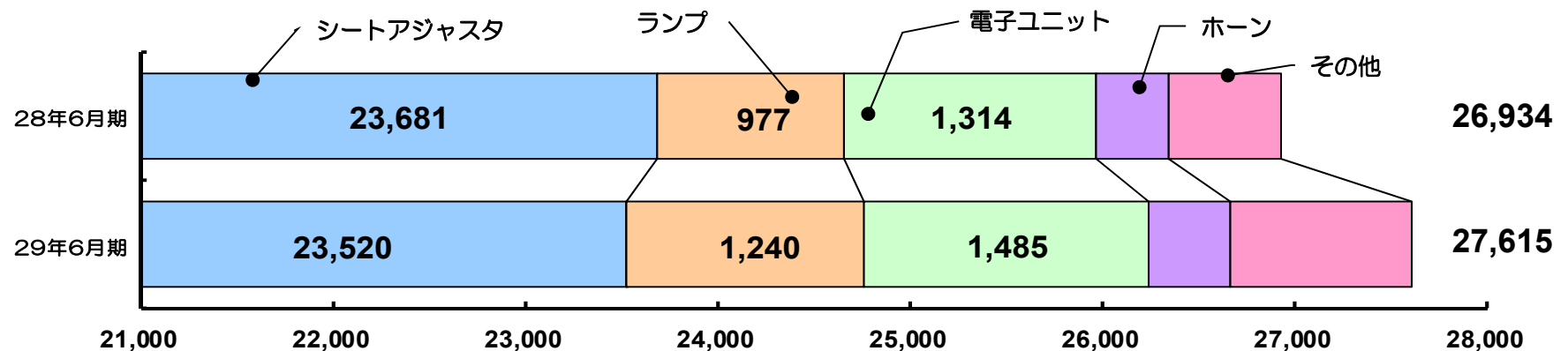
■機種別 売上高構成

百万円	前期		当期		増減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品 シートアジャスタ	23,681	87.9%	23,520	85.2%	▲ 161	▲ 0.7%
(2)電装部品	2,668	9.9%	3,146	11.4%	478	17.9%
ランプ	977	3.6%	1,240	4.5%	263	26.9%
電子ユニット	1,314	4.9%	1,485	5.4%	171	13.0%
ホーン	377	1.4%	421	1.5%	44	11.7%
(3)その他	585	2.2%	949	3.4%	364	62.2%
合計	26,934	100.0%	27,615	100.0%	681	2.5%

POINT

■主力製品であるシートアジャスタは国内、アジアで増産したものの、北米での減産影響などにより減少しました

■ランプと電子ユニットは国内での生産が増加しました



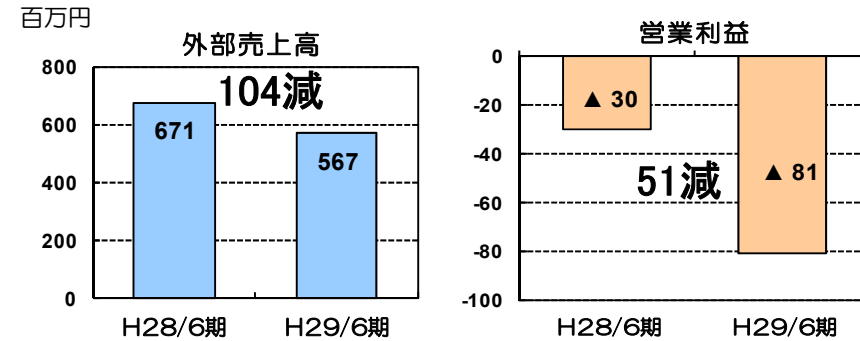
事業の種類別セグメント：その他の事業



■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

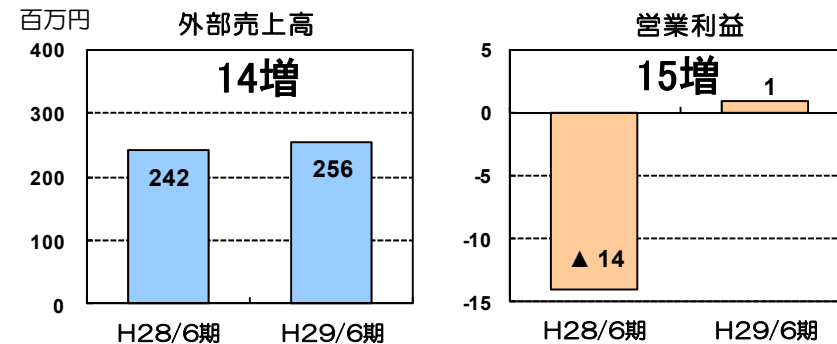
航空機関連の受注減少により減収減益となりました



■福祉機器関連事業

POINT

aLQの販売開始効果と電動車いすなどの受注増加により増収となりました

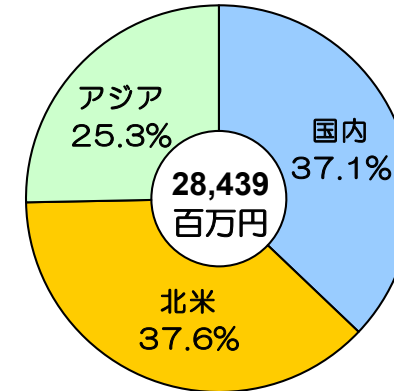


所在地別セグメント・海外売上高

■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H29/6期	10,538	10,689	7,210	28,439
	H28/6期	10,134	11,602	6,111	27,848
	増減額	404	▲ 913	1,099	591
営業利益	H29/6期	9	▲ 39	714	681
	H28/6期	▲ 381	336	395	434
	増減額	390	▲ 375	319	247

所在地別 外部売上高

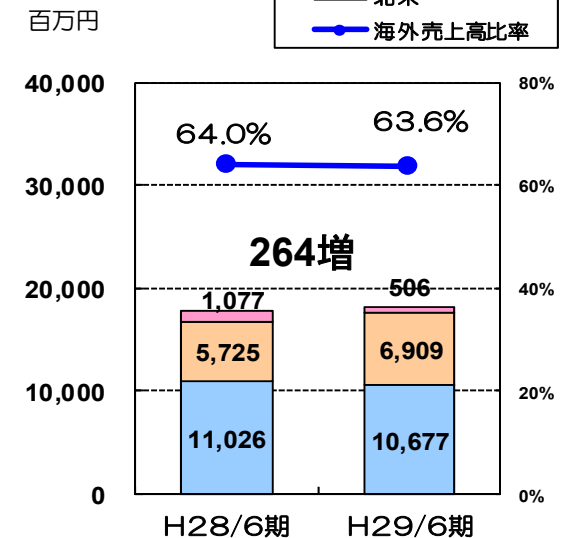


■海外売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H29/6期	10,347	10,677	6,909	506	28,439
H28/6期	10,020	11,026	5,725	1,077	27,848
増減額	327	▲ 349	1,184	▲ 571	591

※海外売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

海外売上高



POINT

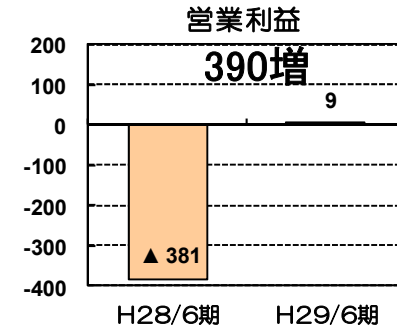
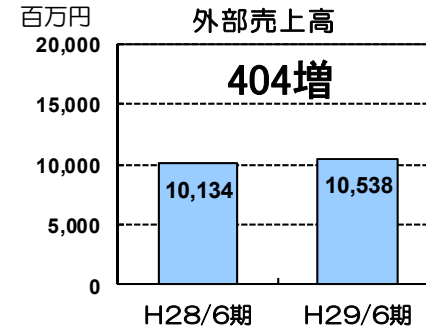
所在地別売上高は北米にて減収となりましたが、国内、アジアにおける生産増加から増収増益となりました

所在地別セグメント

国内

POINT

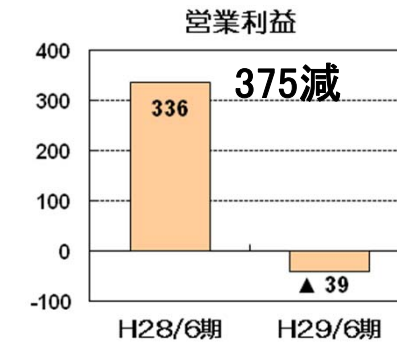
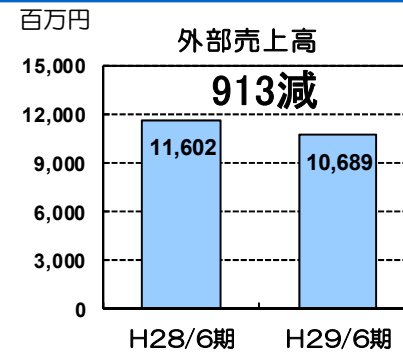
三菱向けの生産回復と生産増加により
増収増益となりました



北米

POINT

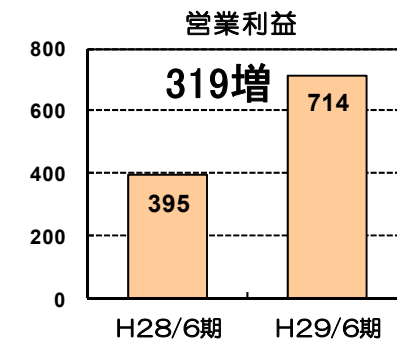
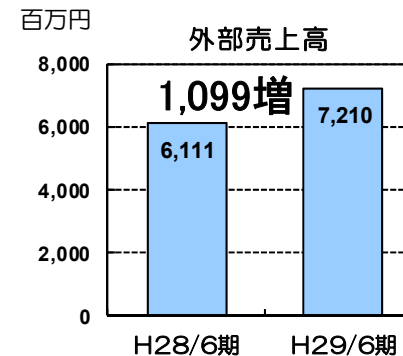
生産減少の影響を受け、減収減益となりました



アジア

POINT

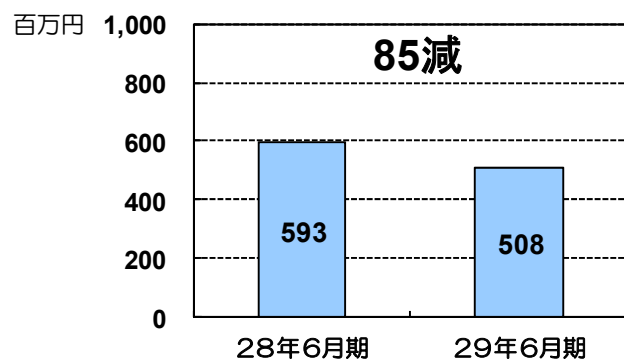
中国、タイにおける生産増加により
増収増益となりました



■ 設備投資

POINT

国内の新規立上り対応による設備投資が増加しておりますが、全体の設備投資を抑制しております

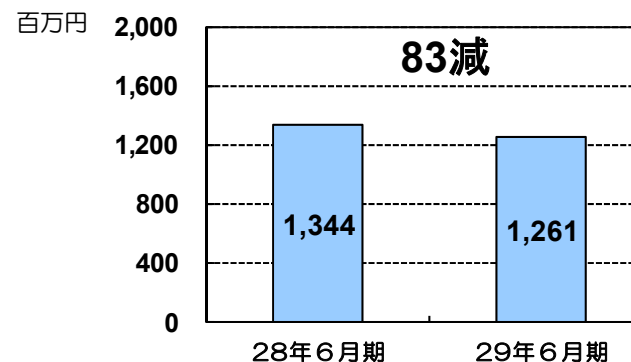


	28年6月期 (実績)	29年6月期 (実績)	前期比増減
日本	235	397	162
北米	7	39	32
メキシコ	127	2	▲ 125
中国	126	57	▲ 69
タイ	88	0	▲ 88
フィリピン	6	4	▲ 2
台湾	0	3	3
インド	0	3	3
インドネシア	0	0	0
合計	593	508	▲ 85

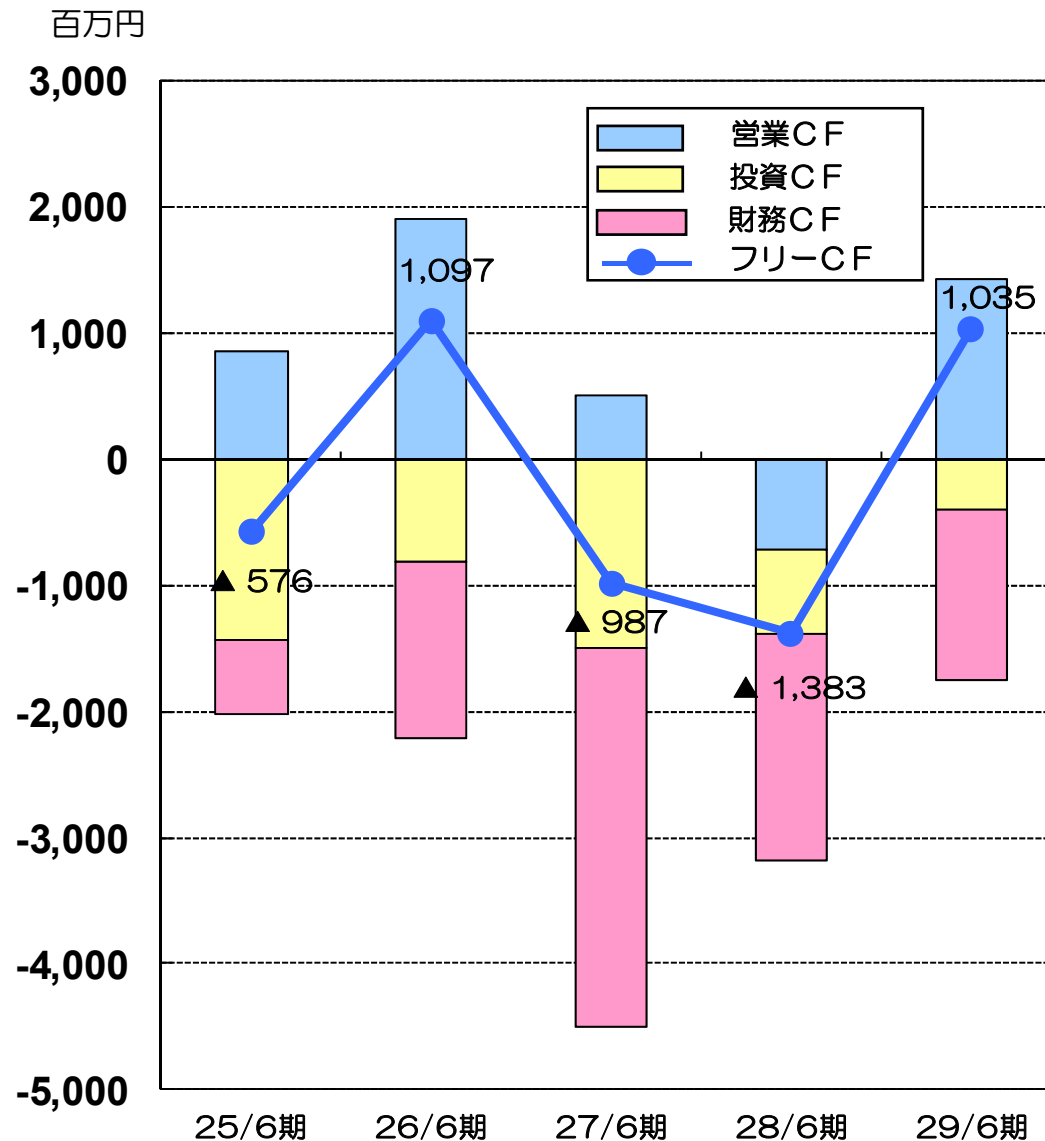
■ 減価償却費

POINT

投資抑制により減価償却費は減少しております



	28年6月期 (実績)	29年6月期 (実績)	前期比増減
日本	665	590	▲ 75
北米	373	365	▲ 8
メキシコ	25	12	▲ 13
中国	120	146	26
タイ	112	106	▲ 6
フィリピン	23	17	▲ 6
台湾	8	7	▲ 1
インド	12	12	0
インドネシア	2	2	0
合計	1,344	1,261	▲ 83



POINT

- 営業CFは法人税の支払いが減少し増加しました
- 投資CFは有形固定資産の取得に対する支払いが減少しました
- 財務CFは借入金の返済により減少しました
- フリーCFは1,035百万円となりました

Ⅱ. 平成30年3月期 業績見通し概要

※期初予想より変更しておりません

百万円	前期実績 (H29年3月期)	当期予想 (H30年3月期)	増減	
			増減額	増減率
売上高	110,275	113,000	2,725	2.5%
営業利益	2,670	3,900	1,230	46.1%
経常利益	2,047	3,800	1,753	85.6%
当期純利益	1,567	2,500	933	59.5%
1株当たり純利益	76.48円	121.95円	45.47	59.5%

ご参考

USD 30/3期 110.00円 29/3期 108.78円 1.22円の円安
 CNY 30/3期 16.07円 29/3期 16.36円 0.29円の円高
 THB 30/3期 3.10円 29/3期 3.08円 0.02円の円安